|  |
| --- |
| 別表１　　　　　　　 日常の火災予防の担当者と日常の注意事項 |
| 防　　火　　管　　理　　者 | 　役職・氏名　　　店長　○○ ○○　　　 |
| 防火担当責任者 | 火元責任者 | 防火担当責任者 | 火元責任者 |
| 担当区域 | 氏　　　名 | 担当区域 | 氏　　名 | 担当区域 | 氏　　　名 | 担当区域 | 氏　　名 |
| １階 | ○○　○○ | 売場 | ○○ |  |  |  |  |
| ２階 | ○○　○○ | バック　　ヤード | ○○ |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
| 担　当　者　の　任　務 |
| 防火管理者 | ・当該施設の防火管理業務の統括責任者・防火担当責任者と火元責任者に対し指導監督を行う。 |
| 防火担当責任者 | ・担当区域の火災予防について責任を持つとともに、火元責任者に対し指導監督を行う。・防火管理者の補佐を行う。 |
| 火元責任者 | ・担当区域の火災予防について「自主検査チェック票」などに基づきチェックし、防火管理者に報告する。 |
| 従業員等の注意事項 |
| 　１　消火器、屋内消火栓などが設置してある場所や階段、通路、出入口などの周辺には物品を置かないこと。　２　防火戸の付近には、閉鎖の障害となる物品を置かないこと。　　防火戸等の防火設備がない場合は削除　３　火気設備器具の周辺は、よく整理整頓して、燃えるものを接して置かないこと。　４　休憩室、事務室などから最後に出る人は、必ず火の始末をすること。　５　従業員、職員等の喫煙は、指定された場所で行い、必ず吸殻入れを用いて喫煙すること。　６　死角となる廊下、階段室、トイレなどに燃えるものを置かないこと。　７　危険物品等を使用するときは、防火管理者の承認を得ること。　８　異常事態が発生したときは、必ず防火管理者に報告すること。　９　喫煙場所などの吸殻入れ、通路のゴミ入れを確認するほか、吸殻は不燃性の蓋付き水入り容器に入れるなどして処分すること。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　全面禁煙の場合は５、９を削除　10　建物内外の整理整頓を行い、ゴミやダンボール箱など燃えやすいものは、決められた時間以外は、外に出さないこと。　11　電気、ガスなどの火気設備器具のスイッチを切り、各室の安全を確かめた後に施錠すること。　12　火元責任者は、担当区域の火気の状況を責任を持って管理すること。　13　シンナーや塗料など火災予防上危険な物品は、持ち込ませないこと。　14　厨房は、常に整理整頓し、グリスフィルターは定期的に清掃すること。　　　　厨房がない場合は削除　15　調理を行っている場合は、調理担当者は絶対に持ち場を離れないこと。　16　その他　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　該当しない部分は削除劇場等ア　場内で喫煙している観客を発見した場合は、直ちに制止させること。　　　イ　観客には、喫煙所以外では、喫煙させないこと。　　　ウ　舞台部両そで、奈落、大道具室、小道具室等は、整理整頓すること。　　　エ　舞台装置としての臨時配線は、適正かつ慎重に使用し、異常を発見した場合は直ちに防火管理者に報告すること。　　　キャバレー等　　　　ア　お客が吸ったたばこは、完全に消して、指定の場所に捨てること。遊技場等　　ア　お客の入替えごとに吸殻、ゴミ屑の処理を行う。飲食店等ア お客が吸ったたばこは、完全に消して、指定の場所に捨てること。百貨店等ア　色別された避難通路上へのはみ出し陳列（ワゴン、平台、ハンガーなど）は、行わないこと。　イ　裸火の使用又は危険物品を持ち込むことは、防火管理者の承認を得ること。ウ　店内で、喫煙しているお客を発見した場合は、直ちに制止させること。ホテル等ア チェックインした宿泊客には、必ず避難経路図の貼付位置と非常口の位置を教えること。イ チェックアウトした室内の火の元を確認し、宿泊客が吸ったたばこは、完全に消して指定の場所に捨てること。病院等ア　入院患者や入居者等には、喫煙場所以外では、喫煙させないこと。イ　手術準備室で使用する煮沸消毒器は、可燃物との接触、空焚き、消し忘れに注意すること。ウ　施設内で生活訓練、職業訓練に伴う火気設備器具を使用する場合は、職員による作業中の巡視、作業終了後の火気点検を実施すること。（社会福祉施設等）幼稚園等ア 担任以外の先生の指示にも従って行動できるよう教育しておく。 |
|  |  |  |

|  |
| --- |
| 別表２　　　 自主検査チェック票（日常）「火気関係」　　　終業時　　　　　　　月　 |
| 実施責任者 | 火元責任者 ○○ ○○ | 担当区域 | 別表１の担当区域ごとに作成 |
| 日 | 曜　　日 | 実　施　項　目 |
| ガス器具のホース老化・損傷 | 電気器具の配線老化・損傷 | 火気設備器具の設置・使用状況 | 吸殻の処 理 | 倉庫等の施錠確認 | 終業時の火 気 の確 認 | その他(共用部分の可燃物の有無) |
| １１ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３５ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６７ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ７ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ８ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ９ |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 14 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 15 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 17 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 18 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 19 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 20 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 21 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 22 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 23 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 24 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 25 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 27 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 28 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 29 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 30 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 31 |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  (備考)　不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。 (凡例)　○…良　　×…不備・欠陥　　△…即時改修 | 防火管理者確認印 |  |
|  |

|  |
| --- |
| 別表３　　　 自主検査チェック票（日常）「閉鎖障害等」　　○時、○時　　　　　月　 |
| 実施責任者 | 火元責任者 ○○ ○○ | 担当区域 | 棟ごとに作成 |
| 日 | 曜　　日 | 避難障害 | 閉鎖障害 | 操作障害等 |
| 避難口 | 廊下避難通路 | 階段 | 防火戸防火シャッター | 自動火災報知設備 |  |
| 南側 | 北側 | 店舗 | バックヤード | 東側 | 西側 | 東側 | 西側 |  | 受信機 | 発信機 |  |
| １１ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３５ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ４ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ５ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ６７ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ７ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ８ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ９ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 13 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 14 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 15 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 16 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 17 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 18 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 19 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 20 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 21 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 22 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 23 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 24 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 25 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 26 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 27 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 28 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 29 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 30 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 31 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  (備考)　不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。 (凡例)　○…良　　×…不備・欠陥　　△…即時改修 | 防火管理者確認印 |  |
|  |

|  |
| --- |
| 別表４　　　　　　　　　自主検査チェック票（定期）　　○月、○月 |
| 実　施　項　目　及　び　確　認　箇　所 | 検査結果 |
| 建　物　構　造 | (1)　基礎部　　上部の構造体に影響を及ぼす沈下・傾き・ひび割れ・欠損等がないか。 |  |
| (2)　柱・はり・壁・床　　コンクリートに欠損・ひび割れ・脱落・風化等はないか。 |  |
| (3)　天井　　仕上材にはく落・落下のおそれのあるたるみ・ひび割れ等がないか。 |  |
| (4)　窓枠・サッシ・ガラス　　窓枠・サッシ等には、ガラス等の落下又は枠自体のはずれのおそれのある腐食、緩み、著しい変形等がないか。 |  |
| (5)　外壁（貼石・タイル・モルタル・塗壁等）・ひさし・パラペット　　貼石・タイル・モルタル等の仕上材に、はく落・落下のおそれのあるひび割れ・浮き上り等が生じていないか。 |  |
| (6)　屋外階段　　各構成部材及びその結合部に、緩み・ひび割れ・腐食・老化等はないか。 |  |
| (7)　手すり　　支柱が破損・腐食していないか。取付部に緩み・浮きがないか。 |  |
| (8)　消防隊非常用進入口は表示されているか。また、進入障害はないか。 |  |
| 防　火　設　備 | (1)　外壁の構造及び開口部等 | 　外壁の耐火構造等に損傷はないか。　外壁の近く及び防火戸の内外に防火上支障となる可燃物の堆積及び避難の障害となる物品等を置いていないか。　防火戸は円滑に開閉できるか。 |  |
| (2)　防火区画 | 　防火区画を構成する壁、天井に破損がないか。　階段内に配管、ダクト、電気配線等が貫通していないか。　自動閉鎖装置（ドアチェック等）付の防火戸等のくぐり戸が最後まで閉まるか。　〔確認要領〕・常時閉鎖式は最大限まで開放して閉まるのを確認する。　　　　　　　・煙感知器連動閉鎖式は、防火戸を止めているマグネット等を手動により外し自動的に閉鎖するのを確認する。　防火シャッターの降下スイッチを作動させ、防火シャッターが最後まで降下するか。　防火戸・防火シャッターが閉鎖した状態で、隙間が生じていないか。　防火ダンパーの作動状況は良いか。 |  |
| 避　難　施　設 | (1)　廊下・通路 | 　有効幅員が確保されているか。　避難上支障となる設備・機器等の障害物を設置していないか。 |  |
| (2)　階段 | 　手すりの取り付け部の緩みと手すり部分の破損がないか。　階段室の内装は不燃材料になっているか。　階段室に設備・機器等の障害物を設置していないか。　非常用照明がバッテリーで点灯するか。 |  |
| (3)　避難階の　　避難口　　（出入口） | 　扉の開放方向は避難上支障ないか。　避難扉の錠は内部から容易に開けられるか。　避難階段等に通ずる出入口の幅は適切か。　避難階段等に通ずる出入口・屋外への出入口の付近に障害物はないか。 |  |
| 火気設備器具 | (1)　厨房設備　　(大型レンジ、　　フライヤー等)､ガスコンロ、湯沸器 | 　可燃物品からの保有距離は適正か。　異常燃焼時に安全装置は適正に機能するか。　ガス配管は亀裂、老化、損傷していないか。　油脂分を発生する器具の天蓋及びグリスフィルターは清掃されているか。　排気ダクトの排気能力は適正か。また、ダクトは清掃されているか。　燃焼器具の周辺部に炭化しているところはないか。 |  |
| (2)　ガスストーブ、　　石油ストーブ | 　自動消火装置は適正に機能するか。　火気周囲は整理整頓されているか。 |  |
| 電気設備 | (1)　変電設備 | 　電気主任技術者等の資格を有する者が検査を行っているか。　変電設備の周囲に可燃物を置いていないか。　変電設備に異音、過熱はないか。 |  |
| (2)　電気器具 | 　タコ足の接続を行っていないか。　許容電流の範囲内で電気器具を適正に使用しているか。 |  |
| 危険物施設 | (1)　少量危険物　　貯蔵取扱所 | 　標識は掲げられているか。　掲示板（類別・数量等）には、正しく記載されているか。　換気設備は適正に機能しているか。　容器の転倒、落下防止措置はあるか。　整理清掃状況は適正か。　危険物の漏れ、あふれ、飛散はないか。　屋内タンク、地下タンクの場合に、通気管のメッシュに亀裂等はないか。 |  |
| (2)　指定可燃物　　貯蔵取扱所 | 　標識は掲げられているか。　貯蔵取扱所周囲に火気はないか。　整理整頓（集積）の状況は良いか。 |  |
| 検査実施者氏名 | 検査実施日 | 検査実施者氏名 | 検査実施日 | 防火管理者確認 |
| 　構造関係　○○ ○○　防火関係　○○ ○○　避難関係　○○ ○○ | 　　年　月　日　　年　月　日　　年　月　日 | 火気設備器具　○○ ○○電気設備　　　○○ ○○危険物施設　　○○ ○○ | 　　年　月　日　　年　月　日　　年　月　日 |  |

　(備考)　不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。

　(凡例)　○…良　　　×…不備・欠陥　　　△…即時改修

|  |
| --- |
| 別表５　　　　　消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検チェック票　　　○月、○月 |
| 実施設備 | 確認箇所 | 点検結果 |
| 　消火器（　　年　月　日実施） | (1)　設置場所に置いてあるか。(2)　消火薬剤の漏れ、変形、損傷、腐食等がないか。(3)　安全栓が外れていないか。安全栓の封が脱落していないか。(4)　ホースに変形、損傷、老化等がなく、内部に詰まりがないか。(5)　圧力計が指示範囲内にあるか。 |  |
| 　屋内消火栓設備　泡消火設備（移動式）（　　年　月　日実施） | (1)　使用上の障害となる物品はないか。(2)　消火栓扉は確実に開閉できるか。(3)　ホース、ノズルが接続され、変形、損傷はないか。(4)　表示灯は点灯しているか。 |  |
| 　スプリンクラー設備（　　年　月　日実施） | (1)　散水の障害はないか。（例．物品の集積など）(2)　間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。(3)　送水口の変形及び操作障害はないか。(4)　スプリンクラーのヘッドに漏れ、変形はないか。(5)　制御弁は閉鎖されていないか。 |  |
| 　水噴霧消火設備（　　年　月　日実施） | (1)　散水の障害はないか。（例．物品の集積など）(2)　間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。(3)　管、管継手に漏れ、変形はないか。 |  |
| 　泡消火設備（固定式）（　　年　月　日実施） | (1)　泡の分布を妨げるものがないか。(2)　間仕切り、棚等の新設による未警戒部分はないか。(3)　泡のヘッドにつまり、変形はないか。 |  |
| 　不活性ガス消火設備　ハロゲン化物消火設備　粉末消火設備（　　年　月　日実施） | (1)　起動装置又はその直近に防護区画の名称、取扱方法、保安上の注意事項等が明確に表示されているか。（手動式起動装置）(2)　手動式起動装置の直近の見やすい箇所に「不活性ガス消火設備」「ハロゲン化物消火設備」「粉末消火設備」の表示が設けてあるか。(3)　スピーカー及びヘッドに変形、損傷、つぶれなどはないか。(4)　貯蔵容器の設置場所に標識が設けてあるか。 |  |
| 　屋外消火栓設備（　　年　月　日実施） | (1)　使用上の障害となる物品はないか。(2)　消火栓扉の表面には、「消火栓」又は「ホース格納箱」と表示されているか。(3)　ホース、ノズルに変形、損傷はないか。 |  |
| 　動力消防ポンプ設備（　　年　月　日実施） | (1)　常置場所の周囲に、使用の障害となるような物がないか。(2)　車台、ボディー等に割れ、曲がり及びボルトの緩みがないか。(3)　管そう、ノズル、ストレーナー等に変形、損傷がないか。 |  |
| 　自動火災報知設備（　　年　月　日実施） | (1)　表示灯は点灯しているか。(2)　受信機のスイッチは、ベル停止となっていないか。(3)　用途変更、間仕切り変更による未警戒部分がないか。(4)　感知器の破損、変形、脱落はないか。 |  |
| 　消防機関へ通報する火災報知設備（　　年　月　日実施） | (1)　表示灯は点灯しているか。(2)　操作上障害となる物がないか。(3)　起動ボタンに破損、変形、損傷、脱落等がないか。 |  |
| 　非常ベル（　　年　月　日実施） | (1)　表示灯は点灯しているか。(2)　操作上障害となる物がないか。(3)　押しボタンの保護板に破損、変形、損傷、脱落等がないか。 |  |
| 　放送設備（　　年　月　日実施） | (1)　電源監視用の電源電圧計の指示が適正か、電源監視用の表示灯が正常に点灯しているか。(2)　試験的に放送設備により、放送ができるかどうか確認する。 |  |
| 　避難器具（　　年　月　日実施） | (1)　避難に際し、容易に接近できるか。(2)　格納場所の付近に物品等が置かれ、避難器具の所在がわかりにくくなっていないか。(3)　開口部付近に書棚、展示台等が置かれ、開口部をふさいでいないか。(4)　降下する際に障害となるものがなく、必要な広さが確保されているか。(5)　標識に変形、脱落、汚損がないか。 |  |
| 　誘導灯（　　年　月　日実施） | (1)　改装等により、設置位置が不適正になっていないか。(2)　誘導灯の周囲には､間仕切り､衝立､ロッカー等があって､視認障害となっていないか。(3)　外箱及び表示面は、変形、損傷、脱落、汚損等がなく、かつ適正な取り付け状態であるか。(4)　不点灯、ちらつき等がないか。 |  |
| 　消防用水（　　年　月　日実施） | (1)　周囲に樹木等使用上の障害となる物がないか。(2)　道路から吸管投入口又は採水口までに消防自動車の進入通路が確保されているか。(3)　地下式の防火水槽、池等は、水量が著しく減少していないか。 |  |
| 　連結送水管（　　年　月　日実施） | (1)　送水口の周囲は、消防自動車の接近に支障がないか。また、送水活動に障害となるものがないか。(2)　送水口に変形、損傷、著しい腐食等がないか。(3)　放水口の周囲には、ホースの接続や延長等の使用上の障害となる物がないか。(4)　放水口を格納する箱は変形、損傷、腐食等がなく、扉の開閉に異常がないか。(5)　表示灯は点灯しているか。 |  |
| 検査実施者氏名 | 　　　　　　　　　　 | 防火管理者確認 |  |

（備考）不備・欠陥がある場合は、直ちに防火管理者に報告します。（凡例）○：良、×：不備・欠陥、△：即時改修

　別表４、５において該当しない項目は削除

|  |
| --- |
| 別表６　　　　　　　　消防用設備等・特殊消防用設備等点検計画表 |
|  | 点検実施月日 | 点検実施月日 |
| 消防用設備等の種類 | 点検の区分 | 機器点検 | 総合点検 |
|  |
| 消火器 | ○月、△月 |  |
| 屋内消火栓設備 | ○月、△月 | △月 |
| 自動火災報知設備 | ○月、△月 | △月 |
| 放送設備 | ○月、△月 | △月 |
| 避難器具（救助袋） | ○月、△月 | △月 |
| 誘導灯 | ○月、△月 |  |
| 連結送水管 | ○月、△月 | △月 |
| 自家発電設備 | ○月、△月 | △月 |
| 配線 |  | △月 |
| 設置されている消防用設備等を記入 | 業者と契約している場合はその時期を記入 | 業者と契約している場合はその時期を記入 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

＊　消防用設備等の点検を点検業者と契約している場合

|  |  |
| --- | --- |
| 点検設備業者住　　　　　所電　話　番　号 | 　　㈱○○防災設備 　　○○市○○町○○丁目○番○○号　　　　　　　○○○（○○○）○○○○　　　　　 |

|  |
| --- |
| 別表７　　　　　　　　　　自衛消防隊の編成と任務 |
| 　　自衛消防隊本部長代表取締役社長 ○○ ○○（自衛消防隊に対する指揮、命令、監督等を行う。）　　自衛消防隊長　　取締役副社長 ○○ ○○ （自衛消防隊本部長が不在の場合は、その任務を代行する。）　　自衛消防副隊長　防火管理者 ○○ ○○ （隊長を補佐し、隊長が不在時は、その任務を代行する。） |
| 本部隊の編成（平常時） | 平常時の任務 |
| 指揮班 | 班長 　　　○○ ○○　　　　　　　　　　　　 | １　隊長、副隊長の補佐２　自衛消防本部の設置３　地区隊への命令の伝達並びに情報の収集４　消防隊への情報の提供並びに災害現場への誘導５　その他指揮統制上必要な事項 |
| 通報連絡班 | 班長　　　　 ○○ ○○ 　　　　　　 | １　消防機関への通報並びに通報の確認２　館内への非常通報並びに指示命令の伝達３　関係者への連絡（緊急連絡一覧表による。） |
| 消火班 | 班長　　　　 ○○ ○○ 　　　　　　 | １　出火階に直行し、消火器・屋内消火栓等による消火作業に従事２　地区隊が行う消火作業への指揮指導３　消防隊との連携及び補佐 |
| 避難誘導班 | 班長　　　　 ○○ ○○ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　 | １　出火階並びに上層階に直行し、避難開始の指示命令の伝達２　非常口の開放並びに開放の確認３　避難上障害となる物品の除去４　逃げ遅れの確認及び本部への報告５　ロープ等による警戒区域の設定 |
| 安全防護班 | 班長　　　　 ○○ ○○ 　　　　　　　　　　　　 | １　火災発生地区へ直行し、防火シャッター、防火戸、防火ダンパー等の閉鎖２　非常電源の確保、ボイラー等危険物施設の供給運転停止３　エレベーター、エスカレーターの非常時の措置 |
| 救護班 | 班長　　　　 ○○ ○○ 　　　　　　 | １　応急救護所の設置２　負傷者の応急処置３　救急隊との連携、情報の提供 |

|  |
| --- |
| 別表８　　　　　　　　　　防火管理業務の一部委託状況表　　　　　（令和　年　月　日現在） |
| 防火対象物名称 | ○○○○ | 再受託者の有無 |
| 管理権原者氏名 |  代表取締役 ○○ ○○ | ☑　無し□　一部有り□　全部 |
| 防火管理者氏名 |  役職　○○　○○ |
| 受託者の氏名及び住所等 |  |
| 〔法人にあっては名称及び主たる事務所の所在地〕 | 受託者が再委託する場合記入 |
| 氏　　名（名　称）住　　所（所在地）電　話　番　号担　当　事　務　所電　話　番　号〔教育担当者講習　　　修了者氏名〕 〔講習修了証番号〕〔教　育　計　画〕 | ○○警備保障株式会社○○市○○町○○丁目○番○号○○○（○○○）○○○○○○市○○町○○丁目○番○号○○○（○○○）○○○○○○ ○○○○ ○○○月と○月に実施する |  |
| 　　　　　　　　　 | 常　駐　方　式 | 範　　　　囲 | □　火気使用箇所の点検監視業務□　避難又は防火上必要な構造及び設備の維持管理□　火災が発生した場合の初動措置　□初期消火　　　□通報連絡　　　□避難誘導　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　）□　周囲の可燃物の管理□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □　同左□　同左□　同左　□初期消火　□通報連絡　□避難誘導　□その他（　　）□　同左□　その他（　　） |
| 方　　法 | 常駐場所常駐人員委託する防火対象物の範囲委託する時間帯 |  |  |
| 巡　回　方　式 | 範　　　囲 | □　巡回による火気使用箇所の点検等監視業務□　火災が発生した場合の初動措置□初期消火　　□通報連絡　　□その他（　　　　）□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □　同左□　同左　□初期消火　□通報連絡　□その他（　　　　　　　　）□　その他（　　　　　　　　） |
| 方　　法 | 巡回回数巡回人員委託する防火対象物の区域委託する時間帯 |  |  |
| 遠 隔 移 報 方 式 | 範　　　囲 | □　火災異常の遠隔監視及び現場確認業務□　火災が発生した場合の初動措置　□初期消火　　□通報連絡　　□その他（　　　　）□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | □　同左□　同左　□初期消火　□通報連絡　□その他（　　　　　　　　）□　その他（　　　　　　　　） |
| 方　　法 | 現場確認要員の待機場所到着所要時間委託する防火対象物の区域委託する時間帯 |  |  |

（備考）「受託者の行う防火管理業務の範囲」については、該当する項目の□にレ印を付すこと。